

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895  
FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### スティーブ・ジョブズも傾倒した禅 石井 清純（駒沢大学仏教学部禅学科教授）

1. 禅がグローバルに展開したきっかけは1950年、仏教哲学者の鈴木大拙が渡米して、コロンビア大学やイェール大学で禅の講義を行ったことに始まる。この講義は反響を呼び、大拙の著書「禅と日本文化」は世界中で翻訳され、禅の思想を学ぶ人たちの必読書となった。当時は米ソ対立が激化し、多くの人たちが東洋思想に興味を持った時期だった。
2. 一方、欧州で禅が広まったのは60年代後半、丸泰仙<sup>まるたいせん</sup>という僧がフランスに渡り、「膝で地を推し、頭頂で空を衝く」というシンプルな教えで禅を広めた。欧州で禅が受け入れられたのは、西洋の物質文明に対する限界や、キリスト教的な世界観に対する疑問があったからだ。
3. やがて70年代に入ると、高学歴・高収入の層の中には仕事上の過度な競争でストレスを抱えた人たちが、坐禅する場所を訪れ、日々の生活の心の置き方を見いだすようになったのだ。スティーブ・ジョブズもその一人だった。ジョブズはやがて直感的でシンプルな思考の重要性に気付きました。曹洞宗の「ただ坐る」という教えが、彼の感性にマッチしたのでしょうか。アップルの製品にはそのシンプルさが、反映されているように思えます。

(参考:「週刊ダイヤモンド」2022年12月3日号)

## 経営者のための社会学

### スイス、イタリアを手本に「生活文化立国」目指せ 藻谷浩介（日本総合研究所主席研究員）

1. 日本の輸出総額は、バブル期の1989年に37兆円だったものが、2021年は82兆円まで増えています。その大半を占める機械、ハイテク部品や素材の国際競争力はとても高い。なのに個人消費は過去25年間増えないまま。それは輸出製造業が徹底的に自動化され、雇用を生まなくなったからです。例えば北九州市は、安川電機のロボットを筆頭に、製鉄や製陶、自動車関連などがフル稼働ですが、人口はとうに100万人を切っています。
2. 日本は今でもハイテク立国ですが、国全体が豊かになるためには「生活文化立国」たる必要があります。お手本はスイスやイタリアです。スイスは手作り時計を数百万円、数千万円で富裕層に売っています。アーミーナイフも、観光客に出す食材もスイス製です。

(参考:「日経ビジネス」2022年11月28日号)

## 経営者のための危機管理

### DX推進を阻むデジタル人材不足

1. デジタル技術を活用し競争力を培うDXの実現が、企業に求められている。だが、帝国データバンク「DX推進に関する企業の意識調査（2022年10月28日）」によると、人材不足などで、DXが進まない企業が多い実態を報告している。調査は2022年9月に2万6494社を対象に実施し、43.9%から有効回答を得た。
2. DXの意味を理解し取り組んでいる企業は15.5%で、取り組む意欲を持つ企業を合わせると全体の4割近くが前向きだった。が、規模が小さくなるほど消極的な企業の割合が多くなり、二極化が進んでいる。課題に関する質問には、47.7%が「人材がない」、43.6%が「スキルやノウハウがない」と回答。時間や費用の課題を抱える企業もそれぞれ3割前後あった。

(参考:「週刊東洋経済」2022年12月3日号)

## 古典に学ぶ

### 空海の世界観

1. 空海は、桁外れにスケールの大きい世界観を持っていました。彼は、次のように説いています。
2. 宇宙の中心には、森羅万象を象徴する大日如来という仏様の存在がある。大日如来は真理そのものであり、世界のあらゆるものにその真理が働いている。私たち人間もまた、その働きのひとつである、と。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)